

ディストリビューティングヒッチの効果

その 1

北米仕様のトラベルトレーラーの場合、その**重量の約10%のヒッチウェイト**が牽引車の最後部のヒッチボールの部分にかかるような設計になっています。

図1のように、牽引車は後部重心の不安定な重量バランスになります。この場合に、ディストリビューティングヒッチを装着することで、**ヒッチボールの一点にかかる重量を前後に配分**することが出来ます。

したがって、図2のように理想的な重量バランスになり、安定した走行が可能となります。

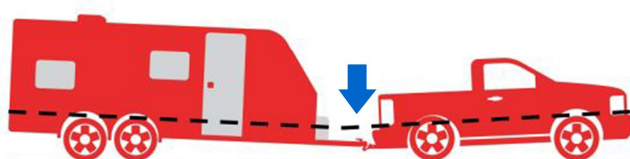


図1

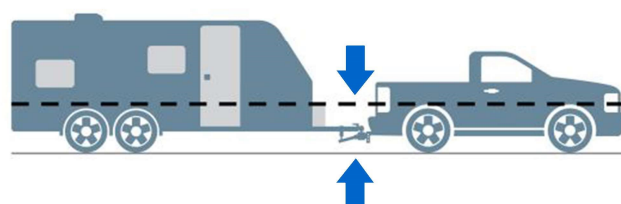


図2

その 2

ディストリビューティングヒッチを装着せずに図3のようなカーブを曲がる時に牽引車は曲がろうとしますが、トレーラーは真っすぐ進もうとします。このような時に急ブレーキをかけると、横転やジャックナイフ現象(ヘッド車とトレーラーがくの字に曲がる現象)の危険性があります。

ディストリビューティングヒッチを装着することにより、**牽引車とトレーラーが一体になって走行するので、左右に振れる危険な現象を防ぐ**ことができます。

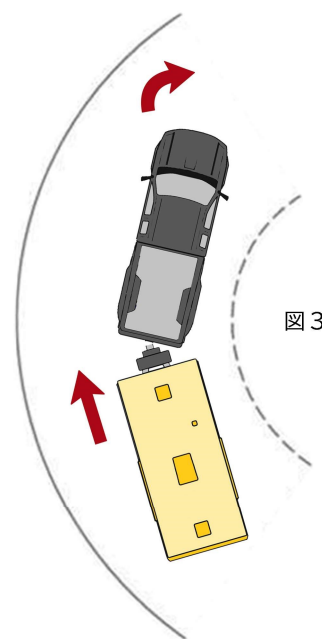


図3

その 3

一軸のトレーラーの場合、図4のような上下の動きが起こりやすくなります。この場合も、走行が不安定な状態になります。

ディストリビューティングヒッチを装着すると、**牽引車とトレーラーが一体になって上下の動きを抑制**してくれます。

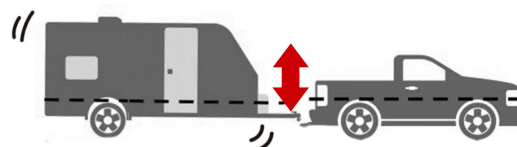


図4

その 4

ディストリビューティングヒッチには、スウェイコントローラーと呼ばれる装置も装着されています。

走行中のトレーラーがバランスを失いそうな時に、動きを抑制してスネーキング(蛇行する現象)を起こしにくくする効果があります。

